

令和4年第7回

荒川区教育委員会定例会

令和4年4月8日

於)特別会議室

荒川区教育委員会

令和4年荒川区教育委員会第7回定例会

1	日 時	令和4年4月8日	午後2時00分
2	場 所	特別会議室	
3	出席委員	教 育 長 教育長職務代理者 委 員 委 員 委 員	高 梨 博 和 長 島 啓 記 坂 田 一 郎 小 林 敦 子 繁 田 雅 弘
4	出席職員	教 育 部 長 教育総務課長 教育施設課長 学 務 課 長 指 導 室 長 教育センター所長 文化交流推進課長 生涯学習課長 地域図書館課長 書 記 書 記 書 記 書 記 書 記	三 枝 直 樹 山 形 実 的 場 寛 佐 藤 彰 洋 津 野 澄 人 杉 山 茂 小 林 弘 幸 青 谷 宗 彦 村 上 智 之 原 田 正 伸 松 本 典 之 小 川 綾 一 丸 田 恭 雅 宮 島 弘 江

(1) 報告事項

ア 令和4年度区立幼稚園等・小中学校の就学状況について

イ 令和4年度社会教育関係団体への補助金について

(2) その他

- 教育長 それでは、定刻になりましたので、ただいまから荒川区教育委員会令和4年第7回定例会を開催させていただきます。

初めに出席者数の御報告を申し上げます。本日5名出席でございます。

議事録の署名委員につきましては長島委員、坂田委員、御両名にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

1月14日開催の第1回定例会の議事録を皆様にお送りしております。次回の定例会で承認についてお諮りいたしますので、次回までに御確認いただき、お気付きの点等について事務局まで御連絡をお願いいたします。

案件に入る前に、4月の定期人事異動で教育委員会関係幹部職員も異動してございます。

異動のあった幹部職員について順次自己紹介をさせていただきます。

- 学務課長 この4月に学務課長を拝命いたしました佐藤と申します。今後、小学校、中学校、幼稚園をしっかりと支援していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
- 教育センター所長 この4月で教育センター所長を拝命しました杉山と申します。荒川区の子どもたちのためにしっかりと頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 文化交流推進課長 4月に地域文化スポーツ部の文化交流推進課長を拝命いたしました小林と申します。3月まで大変お世話になりました。今年は離れてしまいますけれども、引き続きよろしくお願いいたします。
- 地域図書館課長 地域文化スポーツ部地域図書館課長を拝命いたしました村上と申します。
「読書を愛するまち・あらかわ」をしっかりと根付かせ、着実に進めてまいります。しっかりと頑張ります。よろしくお願いいたします。
- 教育長 加えて、地域文化スポーツ部ゆいの森課長に山下課長が就任いたしました。本日、所用により欠席をさせていただいております。また、スポーツ振興課の担当課長だった齋藤剛は、健康部の新型コロナワクチン接種等担当課長に異動してございます。

先生方、どうぞよろしくお願いいたします。

本日、特に案件のない文化交流推進課長及び地域図書館課長は、ここで退席をさせていただきます。

改めて、本日の議事日程に従いまして、これから議事を進めさせていただきます。本日は、報告事項が2件となっております。

初めに、報告事項ア「令和4年度区立幼稚園等・小中学校の就学状況について」を議題といたします。佐藤課長、お願いします。

- 学務課長 それでは、令和4年度就学状況について御報告をさせていただきます。

まず、1の幼稚園及び汐入こども園についてでございます。幼稚園全体では、前年より6

3人減の297人、こども園で20人減の129人となっております。今年入園の3歳児のお子様につきましては、幼稚園で、昨年より27人減の75人、こども園は、昨年より2人増の34人となっております。抽選につきましてはこども園で実施いたしまして、12人のうち10人が入園しております。

続きまして、2の小学校でございます。学級編制につきましては、1年生から3年生は35人、4年生から6年生は40人で編制をしております。全体では前年より82人増の9,090人となっております。新入学児童につきましては、昨年から6人増の1,564人となっております。抽選につきましては、峡田小学校、第四峡田小学校、尾久小学校、第一日暮里小学校、第二日暮里小学校、ひぐらし小学校の6校で実施をいたしまして、峡田小学校、第二日暮里小学校につきましては、希望された方が全員入学されましたが、ほかの4校につきましては御希望に添えない方が出るという結果になりました。

裏面を御覧ください。3の中学校でございます。中学校については、学級編制の考え方は例年と変わりません。全体では54人増の3,406人となっております。新入学生徒につきましては、前年から42人減の1,108人となっております。抽選につきましては、尾久八幡中学校で実施をさせていただきましたが、こちら希望者が多かったために、一部御希望に添えなかった状況でございます。

2枚目以降につきましては、詳細な資料となっております。

7ページの下段に、今、お知らせさせていただきました小学校の学校選択の実施状況、次のページをおめくりいただきまして、9ページに尾久八幡中学校の学校選択の実施状況が記載されてございます。

簡単ではございますが、説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

- 教育長 本件につきまして、御意見、御質問等がございましたらお願いいたします。
- 小林委員 1点だけよろしいでしょうか。この幼稚園児数の減少ということなのですが、これは少子化の影響でしょうか。あるいは、私立の幼稚園に入園するようになっているとか、そういった要因でしょうか。
- 学務課長 全体の3歳から5歳児の児童数につきましても若干減少気味でございます。それから、今の幼児教育の無償化の影響等もございまして、それから、保育園を選択される御家庭もかなり数があるという状況も踏まえまして、こういった状況になってございます。
- 小林委員 分かりました。ありがとうございます。
- 教育長 坂田委員。
- 坂田委員 今年度、増減の比率と比べると学級数が増えているように思うのですが、それは、ちょうど境目の学校が多かったからなのですか。

- 学務課長 35人学級を順次進めてございます。もともと荒川区は1、2年生が35人で学級編制しておりましたので、昨年まで1、2年生が35人学級、今年度、学年が進むに当たって1学年35人で編制する学年が増えたということでございます。
 - 坂田委員 なるほど、分かりました。
 - 教育長 1年ごとに、今年は、1、2、3年が35人学級、来年は1、2、3、4年が35人学級ということで、少しずつ学級数が増えていきます。
 - 繁田委員 一つよろしいですか。私が誤解しているのかもしれないのですが、中学校なのですから、生徒数は増えているじゃないですか。新入生は減っているじゃないですか。転入よりも転出の方が多いじゃないですか。ここはどうして生徒さんが増えたのですか。
 - 教育長 繁田委員、実は昨年度の卒業した3年生が少なかったということなのです。
 - 繁田委員 そうか、学年進行しているからですね。
 - 教育長 ちょっとややこしいですけども。
 - 繁田委員 分かりました。
 - 教育長 中学生も小学生も例年に比べて少ない年度があったり、いわゆる丙午で、その年が少なくなっていってしまったりというのがあります。
 - 繁田委員 そうか、出生数が違っているのですね。
 - 教育長 そうなのです。
 - 繁田委員 分かりました。ありがとうございます。
 - 教育長 先ほどの小林委員の御指摘なのですけれども、先ほど佐藤課長が説明させていただいたように、幼児教育の無償化の中で、保育園が給食とかおやつも含めて無料になっています。私立幼稚園も給食も含めて無料になって、区立幼稚園は、給食がなくて送迎もなし、時間が短いというので、保護者の方々が選択されにくいという状況があります。
- 教育内容は、大変質の高い教育を行っていて、障がいがあるお子さんたちにもきめ細かな御支援をしているのですけれども、なかなか難しいところです。
- 小林委員 分かりました。ありがとうございます。
 - 長島委員 よろしいですか。9ページの尾久八幡中の抽選の実施状況、この見方をちょっと教えていただけますか。
 - 学務課長 抽選の実施状況ですけれども、まず、全体で受入可能数を、我々の方で133名ということで決めさせていただいております。

それから、通学の区域内のお子様は139名、通学区域外、尾久八幡中学校以外のお子様は97人希望をされております。その際、受け入れ可能数が、通学区域内のお子様で満たされている状況ですので、当選というところが、ゼロとなっておりますが、その状態で入学さ

れるお子様はいないということです。

その後、97人の方につきましては補欠ということで抽選をさせていただき、42名の方は私立中学校等が決まって辞退されたと。それ以外に21名の方は、当初は区域内のお子様が辞退されたので、21名の方は入れることになりました。

ほか34名の方まで人数の枠が空かなかったという状況でございます。

- 教育総務課長 少し補足をさせていただくと、通学区域内の児童・生徒については、希望すれば全員が入れる形になります。そのため受入可能数というのは、転入も含めて多少バッファを持っているのです。133人なので、通学区域139人ですからパンクしてしまうように見えますけれども、これは139人全員入れます。

ただ、残りの97人は抽選。その後、他校ですとか私立に行ったりでだんだん抜けていって、抽選をした97人がだんだん繰り上がります。繰り上がりの番号の最後が繰り上がりきらないと、残り34人が繰り上がらなかった。その児童は自分の通学区域の学校に戻っています。

- 長島委員 ありがとうございます。
- 坂田委員 もう一ついいですか。今年小学校で見ると、四峡と尾久が非常にたくさんの希望者があって、特に尾久が通学内の希望者で埋まっていて当選者はゼロという状況ですね。この辺の学校はやはり今、お子さんが増えているという状況なのですか。
- 教育長 実は四峡も尾久も毎年抽選になってしまっているのです。
- 学務課長 尾久小学校につきましては、今、教育長の方からお話しがあったように、例年抽選を行っておりまして、学齢数も比較的增加えているといった状況です。

今回、通学区域内のお子様が78人となってございますが、昨年度は60人ちょっとという状況でしたので増えているかなと考えてございます。

第四峡田小学校の方ですけれども、こちらも区域内のお子様が今回56人おりますが、昨年は40人を割っているような状況でしたので、若干区域内のお子様が増えているかなと認識しています。

- 坂田委員 結果的に繰り上げられなかった方については、その2校で大半を占めていますね。
- 教育長 そうですね。
- 教育総務課長 尾久小の場合ですと、足立区から来る方も、舎人ライナーでいらっしゃる方も結構区外でいらっしゃいますので、そういう方が場合によっては厳しい状況になります。

四峡の場合は五峡ですとか九峡ですとか二峡、近隣の小学校から希望する方がいらっしゃるのですけれども、地域的にそれほど大きいマンションが建つエリアではないので微増という感じかなと思います。芝生があったり、そういうところで人気があって、四峡はかなり前

から抽選が多い状況ではございます。

- 教育長 昔は、尾久小とか赤土小とか足立区からも受け入れをいたしておりましたが、今はほとんど受け入れられない状況です。
- 小林委員 この６ページの表で見せていただくと、汐入東は児童数が急に減っていますね。これは地域全体の人口の年齢が上になりつつあるということなのですか。
- 学務課長 汐入東小学校につきましては、やはり学齢数が順々にちょっと減っていったという傾向がございます。
- 小林委員 そうですか。汐入はむしろ微増しているのに対して、汐入東の方が急に減っていますね。
- 教育長 同じような地域なのですけどね。
- 教育総務課長 これも難しいですけども、どちらかというと汐入小の方のマンションの方は賃貸系が多いのです。汐入東小のところは分譲が多いので、世帯がそのままお住まいになって、小中学生より上の世代になっていったということがあります。
- 教育部長 もうちょっと補足しますと、汐入東小学校の地域の方が、むしろ昔の東京都の再開発で集合住宅が結構建っているエリアなのです。汐入小学校の方ですと、その部分は一応あるのですけれども、従来のまちといえますか再開発エリア外のところもありますので、そういう意味では、汐入東小学校については再開発で入られた方々がだんだん収束してきているのかなという分析も一部ではできると思います。
- 教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、本件については以上とさせていただきます。

続きまして、報告事項イ「令和４年度社会教育関係団体への補助金について」を議題といたします。青谷生涯学習課長、説明をお願いします。

- 生涯学習課長 令和４年度社会教育関係団体へ補助金を交付するに当たり、社会教育法第１３条の規定に基づき、社会教育委員の会議で意見を聴取したところ、下記のとおり了承されましたので、御報告するものでございます。

内容の１番でございますが、こちらは生涯学習課所管分でございますが、団体補助が７件、事業補助が１０件となっております。

裏面を御覧ください。内容の２番、こちらは教育総務課所管分でございますが、団体補助が２件、事業補助が７件でございます。

内容の３番、スポーツ振興課所管分でございますが、こちらは事業補助ということで３件でございます。

令和３年度も同様に予算措置されておりましたが、ほとんどの団体が、今回コロナの影響

を受けたということで中止となった事業も多々ありましたが、団体によってはコロナ禍でもできる工夫というのをしながら事業を実施していたところと聞いております。したがって、令和４年度も同様に予算措置をさせていただき、団体の活動を区としても支援していきたいと考えてございます。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

- 教育長 本件につきまして、御意見、御質問等ございましたらお願いいたします。
- 教育総務課長 教育総務課所管の小学校と中学校のＰＴＡ連合会については、大きなイベント等については一部できないところもございましたけれども、比較的、令和３年度については執行できてございます。ただ、合宿通学につきましては、やはり泊りがけというところもあったので、令和３年度については実施が難しい状況でございました。今年度何とかできればいいかなと考えているところでございます。
- 教育長 いかがでしょうか、よろしいでしょうか。青谷課長、生涯学習課所管分の事業補助で、昨年度と比べて今年度から新たに補助団体になったところはあるのですか。
- 生涯学習課長 １番の生涯学習課所管分の１２から１７につきましては、あらかわ子コミュニティ事業というところでございまして、３年間を上限として団体に対して補助をしているものでございます。今年度から新たに、あらかわ子コミュニティ事業手を挙げた団体が１件ございます。

また、子育てに関連した各団体による子コミュニティフェスタは、なかなか活動ができてなくて、昨年度もパネル展だけというところでございます。

- 教育長 分かりました。
- 小林委員 １点だけ質問よろしいでしょうか。コロナ禍でもいろいろな工夫をして、行事をやっていただけで本当にありがたいと思っております。資料には団体が並んでいるのですが、団体の構成員が高齢化するといった、そういう課題はないのでしょうか。もし御存じであればお願いいたします。
- 生涯学習課長 荒川区少年団体指導者連絡会が昭和４０年に設立され、大変息が長い団体でございまして、こちらは会員数１３０人いらっしゃいます。会長も多く替わっているのですが、私が見ている限り、子どもたちに対して、団体の方もシニアリーダーといって、中高生がそのまま少年団体指導者連絡会に入って指導者として活動したりとか、そういう流れもありますのでうまく回っている団体と認識しております。

一方で、「あらかわ青年大会」を実施している荒川青年大会実行委員会なのですが、この主体が荒川区青年団体連合会というところで、青年団体の連合会なのですが、皆さんもう４０、５０歳というところで、そこが課題として認識しております。青年の育成のために、

例年、アリストックという、あらかわ遊園の裏のアリスの広場で実施しているイベントもありますが、ここ２年でできていないのが実情でございまして、昨年の末に、青年団体連合会と話し合う機会を設けまして、イベントをやるだけでいいのか、青年に対するアプローチはもっとあるのではないかと、青少年委員連絡会も青年部会というのがございまして、そこと連携してこれからの青年に向けたアプローチを考えていこうと今、話し合いを開始したところでございます。

- 小林委員　そうですか。うまく世代交代ができていくとよろしいですね。
- 教育総務課長　母の会ですとか更生保護女性会、こういうところは御指摘のようにかなり高い年齢層になっております。
- 小林委員　そうですか。
- 生涯学習課長　今の話で、おっしゃるとおり荒川区の婦人学級連絡会、こちらが昨日、会長がお見えになりまして、４月で活動が止まると。やっぱり高齢化で担える人がいないという話は、すみません、発言漏れでしたけれども、お伝えします。
- 長島委員　新規のという話もありましたけれども、団体補助と事業補助と分けられていて、補助金交付の仕組みといたしますか、申請があって交付することになりますというのか、やり取りと言ったら変ですけども、どんな感じになっているのでしょうか。
- 生涯学習課長　団体補助の場合は、年度初めに幾らという補助金をそれぞれの団体に対して交付し、また年度末に実績報告を頂きまして、もしもそこで余れば戻入という形になります。
事業補助の場合は、事業を実施する場合にのみ補助を出すものでございますので、先ほどお話しした荒川青年大会を実施しておりませんので、こちらについては補助実績というものはございません。
- 長島委員　なるほど。事業を実施するところが、申請があって初めて動き出す。
- 生涯学習課長　さようでございます。
- 長島委員　ありがとうございます。
- 教育長　そのほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

本件についても以上とさせていただきます。

次に、その他の報告事項ですが、教育委員会の日程について、事務局から連絡事項はありますでしょうか。

- 教育総務課長　１５ページを御覧いただければと思います。今回、８月２６日に防災部の被災地訪問の報告会を追加してございます。昨年度は実施できなかったところもございますけれども、できるだけ被災地訪問をして報告会ができればいいかなと考えているところでございます。

以上でございます。

○教育長 以上をもちまして、教育委員会令和４年第７回定例会を閉会とさせていただきます。

—了—